



第6回 重粒子線医工連携セミナー

「重粒子線がん治療装置の最新技術」

この講演では、重粒子線がん治療装置における東芝エネルギーシステムズ社の最新技術開発の取組みについて述べる。東芝エネルギーシステムズ社では、これまで量研機構/放医研(QST/NIRS)の重粒子線がん治療施設整備に参画し、先進技術を開発してきた。代表的な技術は次の通りである。

- 1) 患者高速位置決め
- 2) 3D高速スキャンニング
- 3) 呼吸同期照射
- 4) 超伝導技術を用いた回転ガントリー

これらの技術は、既存の施設である放医研新治療研究棟、神奈川県立がんセンター、また現在建設中の山形大学重粒子施設、韓国・延世大学医療院に採用されている。

講演では、これらを説明するとともに、今後の取組みについても触れることにする。

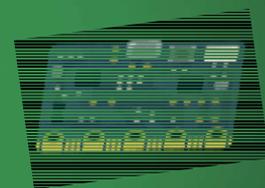
申込不要
参加自由

日程 2019年2月8日(金) 17:00~18:00

場所 群馬大学重粒子線医学センター
カンファレンス室

講師 矢澤 孝 先生

東芝エネルギーシステムズ株式会社原子力事業部
新技術応用プロジェクト部



お問い合わせ

群馬大学重粒子線医学研究センター 猪爪
Email:inoino@gunma-u.ac.jp
・371-8511前橋市昭和町3-39-22
電話027-220-8378 FAX027-220-8379

